

北橋一号窖藏

1972 年 12 月 9 日、建和郷北橋村で農民喬新発が崖面の土を取り除いている時に発見した。銅器 9 件が出土し、扶風県博物館に蔵した。



白吉父鼎

1972 年、北橋一号窖藏出土。

扶風県博物館蔵。

通高 31.8 cm、口径 31.5 cm、腹囲 96 cm。

立耳、蹄足、平沿方唇で、口下には竊曲紋を、腹には弦紋を飾っている。

腹内に 4 行 22 字の銘文がある。

隹十又二月初
吉白吉父作穀
尊鼎其萬年
子子孫孫永寶用



白吉父簋

1972 年、北橋一号窖藏出土。扶風県博物館蔵。

通高 24 cm、口径 19.5 cm、腹囲 78 cm。

弇口、鼓腹で、圈足は 3 つでそれぞれに獸面を附した偏足。兩耳の獸角は螺状を呈し、口下・盖沿・圈足は重環紋で飾られ、腹には瓦紋が鑄られている。

器・盖に 4 行 22 字の同文の銘がある。

唯十又二月初
吉白吉父作穀
尊簋其萬年子
孫孫永寶用

